【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2005-503359(P2005-503359A)
【公表日】平成17年2月3日(2005.2.3)
【年通号数】公開・登録公報2005-005
【出願番号】特願2003-508333(P2003-508333)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　９/08　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　９/14　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/351　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/415　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/42　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/4433　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/4745　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　45/00　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　38/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　９/08
Ａ６１Ｋ　９/14
Ａ６１Ｋ　31/351
Ａ６１Ｋ　31/415
Ａ６１Ｋ　31/42
Ａ６１Ｋ　31/4433
Ａ６１Ｋ　31/4745
Ａ６１Ｋ　45/00
Ａ６１Ｋ　37/02

【手続補正書】
【提出日】平成17年6月16日(2005.6.16)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
疎水性物質の、哺乳類の真皮への投与用薬剤の製造のための使用であって、疎水性物質の投与で、ボーラス注射により皮下に疎水性物質を注射することで起こる吸収と比較して、全身への吸収の改善が起こる、前記使用。
【請求項２】
哺乳類に疎水性物質を投与するための機器であって、疎水性物質を真皮に投与して該疎水性物質の全身への吸収を得るように構成され、エレクトロポレーション注射方式であるか又はサーマルポレーション方式である、前記機器。
【請求項３】
哺乳類の真皮への投与のためのキットであって、疎水性物質を含み、疎水性物質の真皮への投与で、皮下に疎水性物質を注射することで起こる吸収と比較して全身への吸収の改善が起こる、前記キット。
【請求項４】

さらに哺乳類に疎水性物質を投与するための機器を含み、該機器が疎水性物質を真皮に投与して該疎水性物質の全身への吸収を得るように構成され、該機器がエレクトロポレーション注射方式であるか又はサーマルポレーション方式である、請求項３に記載のキット。
【請求項５】
投与がボーラス注射によるものである、請求項１～４のいずれかに記載の使用、機器又はキット。
【請求項６】
哺乳類において少なくとも１つの薬物動態学的パラメータが改善され、薬物動態学的パラメータの改善が、疎水性物質のバイオアベイラビリティーの増加、T_{max}の減少、C_{max}の増加、及びT_{lag}の減少からなる群から選択される、請求項１～４のいずれかに記載の使用、機器又はキット。
【請求項７】
哺乳類に疎水性物質を投与することが、任意の固体の射出、起電力、熱エネルギーまたは気体の弾道により形成される皮膚の微小孔を通じて疎水性物質を送達することを含む、請求項１～４のいずれかに記載の使用、機器又はキット。
【請求項８】
哺乳類に疎水性物質を投与することが、微小ニードルのアレイを通じて疎水性物質を送達することを含む、請求項１～４のいずれかに記載の使用、機器又はキット。
【請求項９】
疎水性物質が、注入ポンプ、圧電ポンプ、起電力ポンプ、電磁ポンプ、さらばね、イオン導入、又は超音波導入によって送達される、請求項１～４のいずれかに記載の使用、機器又はキット。
【請求項１０】
疎水性物質が１．５より大きいｌｏｇＰ値を有する、請求項１～４のいずれかに記載の使用、機器又はキット。
【請求項１１】
疎水性物質が、（Ｒ）－５，６－ジヒドロ－５－（メチルアミノ）－４Ｈ－イミダゾ［４，５－ｉｊ］－キノリン－２（１Ｈ）－チオン、Ｎ－（３{（１Ｒ）－１－［（６Ｒ）－４－ヒドロキシ－２－オキソ－６－フェネチル－６－プロピル－５，６－ジヒドロ－２Ｈ－ピラン－３－イル］プロピル}フェニル）－５－（トリフルオロメチル）－２－ピリジンスルホンアミド、エピルビシン、バルデコキシブ、セレコキシブ、およびパレコキシブからなる群から選択される、請求項１～４のいずれかに記載の使用、機器又はキット。
【請求項１２】
疎水性物質がタンパク質を含む、請求項１～４のいずれかに記載の使用、機器又はキット。
【請求項１３】
疎水性物質がＰＥＧ－タンパク質複合体およびｓＦｖ－タンパク質複合体からなる群から選択される、請求項１～４のいずれかに記載の使用、機器又はキット。
【請求項１４】
物質がナノ粒子またはナノ結晶の形である、請求項１～４のいずれかに記載の使用、機器又はキット。